

3. 教員希望者向け 採用試験対策講座

■教員採用試験の特長

教員採用試験は、学力試験の得点のみによって合否が決まる競争試験ではなく、教員免許状を取得している（取得見込み）人の中から「教員としてふさわしい資質・能力を有する人材を確保する」ために、各都道府県及び政令指定都市の教育委員会が実施している選考試験です。

試験の内容は自治体によって異なりますが、原則として、まず学力試験の得点が、教師としてある一定の基準に達しているかどうか判断基準の1つとされます。その上で、論作文試験や面接試験による人物評価試験にて採用候補者の選考がなされます。したがって、受験者が合格するための条件として、「学力試験の得点においては、必ずある一定基準をクリア」し、さらに「人物試験では、教員として求められる資質・能力を理解し、存分に自分をアピールする」ことが挙げられます。

採用試験を実施している62の自治体のほとんどで2次試験以上の選考があり、その全てで1次試験では何らかの学力試験を実施しており、「学力が教師としてある一定基準に達しているかどうか」は1次試験ではかるものとして位置付けているようです。

その1次試験の合格率は、全国平均で全受験者のうち約3割強と非常に厳しい現状です。よって教員採用試験においては、まず1次試験で出題される筆記試験の対策を万全に行う必要があると言えます。（※文中の数値は平成26年度採用試験による）

■講座の特長

教員採用試験対策講座では、1次試験対策として必須の筆記試験について、参考書をベースとした基礎講義から問題集を使用した演習講義まで、段階的に学習することが出来るので、学力に不安がある方にも安心して受講して頂ける講座設計となっています。

また、講義内容についても、出題頻度の高い分野に絞って学習していきますので、学業などで忙しい方にも効率よく学習して頂くことが出来ます。

	春学期	秋学期	曜日・時限
1 回生	突破講座1（数学の基礎）	20コマ	水6
2 回生	突破講座2（一般教養）	16コマ	水6
3 回生	突破講座3（一般教養・教職教養・小学校全科の一部）	40コマ+16コマ(4年次)	水5・6
4 回生	突破講座4（教職教養）	16コマ	水5・6

(1)教員採用試験 突破講座1（数学の基礎）

対象：教員志望の1回生

条件：なし

時限：水曜6限

コマ：年間20コマ（春学期10 秋学期10）

内容：教員採用試験・一般教養科目の「自然科学(特に数学)」に対応するため、SPI試験対策テキストを用いて、数学の基礎的な力をつけていきます。

(2)教員採用試験 突破講座2（一般教養 頻出分野の基礎）

対象：教員志望の2回生

条件：なし

時限：水曜6限

コマ：年間16コマ

内容：教員採用試験の一般教養科目の頻出分野である「自然科学」「社会科学」の基礎を確実に身につける。これにより、3年次からの「突破講座3」受講がスムーズに進められます。

(3)教員採用試験 突破講座3（一般教養・教職教養・小学校全科の一部）

対象：教員志望の3回生

条件：なし

時限：水曜5・6限

コマ：【3年次】40コマ(20回)【4年次】16コマ(8回)

内容：3年次から4年次までの、全56コマの講義で、教員採用試験合格に必要な「一般教養」「教職教養」の全分野をカバー。テキスト中心にインプット講義を行い、本試験に対応できる力を養います。

備考：文部科学省(著)学習指導要領4冊(「体育」「家庭」「図工」「音楽」)は各自でご準備ください。

(4)教員採用試験 突破講座4 (教職教養)

対象：教員志望の4回生

条件：なし

時限：水曜5・6限

コマ：年間16コマ(8回)

内容：教員採用試験直前の最終講義。

「教育原理」「教育法規」など、教員採用試験に必要な教職教養全分野について学習します。

「教員採用試験ガイダンス」について

⇒ 全学年対象・事前申込不要

内容：①教員採用試験の概要

②教員採用試験対策講座の概要